

## 2023 年度

## 授業概要

科目名	老年期障害治療学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8 回	時間数	15 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
							2年 後期
【授業の目的・ねらい】 高齢者の取り巻く環境や高齢者自身の捉え方、高齢者への作業療法アプローチを理解する。							
【実務者経験】 作業療法士として西広島リハビリテーション病院、介護老人保健施設ベルローゼ等に勤務、老年期のリハビリテーションに従事。							
【授業全体の内容の概要】 高齢者へのアプローチ手法を学ぶ。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 高齢者へのアプローチ手法を理解できる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	老年期作業療法の特徴						資料
2	作業療法による介入						教科書、資料
3	作業療法による介入						教科書、資料
4	作業療法による介入						教科書、資料
5	作業療法による介入						教科書、資料
6	作業療法による介入						教科書、資料
7	作業療法による介入						教科書、資料
8	作業療法による介入						教科書、資料
	定期筆記試験						
【使用教科書・教材・参考書】 認知症の作業療法 三輪書店 標準シリーズ 老年学 医学書院 作業療法学ゴールドマスタートテキスト 老年期作業療法学 メジカルビュー							
【準備学習・時間外学習】 認知症は十分理解しておく必要がある。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価を30点、定期筆記試験を70点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							